

瑞岩寺報

2013.08.01
(平成25年 葉月)

【お盆号】

お盆総合案内

お盆法要

今年のお盆法要は左記の通り行なわれます。

【期日】8月3日(土)

【時間】午後1時～

【お盆の供養料】

◎先祖供養塔婆 5,000円

◎新盆供養塔婆 10,000円

【内容】檀信徒すべての精霊のお盆法要をします。

◎新盆塔婆供養

◎先祖塔婆供養

◎『般若心経』

◎御詠歌

法要後、お塔婆をお持ち帰りください。

粗品がございますので出欠席のハガキを返信ください。

お盆棚経参り

【期日】8月4日(日)～8月12日(月)

例年通り各家へのお盆のお参りはお盆法要終了後から開始します。副住職が早朝から夜まで約320軒の檀家さんを回りお棚経をあげます。お布施は

結構ですので、どうしても都合の悪い場合は都合のよい日を返信ください。短い時間ですが、ご家族と一緒に参りをお願い申し上げます。

お盆参り予定日程 ※多少変更される場合もあります

| | |
|-----------------|--------------------|
| 7月16日(火)～30日(火) | 東京・神奈川・埼玉南部 |
| 8月4日(日) | 太田市外(群馬県外・前橋・館林地区) |
| 8月5日(月) | 太田市外(足利・桐生地区) |
| 8月6日(火) | 太田市内(太田地区) |
| 8月7日(水) | 萩原地区、その他 |
| 8月8日(木) | 七日市、落内、唐沢地区 |
| 8月9日(金) | 丸山、清水、反丸地区 |
| 8月10日(土) | 矢田堀地区 |
| 8月11日(日) | 矢田堀地区 |
| 8月12日(月) | (予備日) |

【時間】〈早朝〉6:00～9:00 / 〈午前〉9:00～12:00 / 〈午後〉12:00～15:00 / 〈夕方〉15:00～18:00

お墓そうじ 瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【日時】7月28日(日) 午前6時頃から
お盆が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。お盆前の一斉お墓掃除を右記のごとく行ないます。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

◆強制ではありません。この日この時間でないといけないということではありません。◆自分のお墓の掃除が終わったら通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。◆遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心を。◆飲み物の用意、あります。

Attention!!

以下の点にご留意ください。

【お盆法要について】

◎お盆供養塔婆について、「必要」、「不要」を返信ハガキに記入してください。

◎「必要」の場合はお盆法要に「出席」・「欠席」を返信ハガキに記入してください。

◎「必要」で「欠席」の場合は、必ず8月3日以降に塔婆を受け取りに出てください。

塔婆供養料の振込みを同封します。毛里田地域の方は世話人さんにお渡しください。

塔婆を受けられる方は風呂敷などを、ご持参ください。

【市内・県内外の檀信徒の方に】

市内・県内外の方は同封の振込用紙

をお使いくください。

県外の方でお塔婆をお供えできない方は瑞岩寺でお墓にお供えいたします。ご一報ください。

【お盆参りについて】

◎お盆参りについて「必要」・「不要」をハガキに記入してください。

◎「必要」と記入されたお宅には、8月初めにお参りします。

◎「不要」ならば「返信なし」の場合はお参りには伺いません。

「必要」だけ日時が合わない場合は、希望日をお書きください。調整いたします。

返信期日までに必ずお送りください。その結果により順番を決めお参りします。

返信葉書は7月31日必着です。

【永代供養墓・水子供養墓関係者の方へ】

永代供養墓または水子供養墓にお入りになっている方については、瑞岩寺で責任をもってお盆の供養をしておりますが、個別でのお塔婆を希望される方はお申込みください。供養料は前項にある通りです。

【ペット供養墓関係者の方へ】

ペットの合同供養は左記の通り行なわれます。

【日時】8月3日(土) 午前10時より

【お盆のペット塔婆供養料】4,000円

◆強制ではありませんので、ご供養してあげたい方のみご参加ください。

群馬県立がんセンター看護師長
がん看護専門看護師

茂木真由美さん

インタビュー

(副) 太田市で緩和ケア病棟をはじめようとしたきっかけはなんですか？

(茂木) 群馬県には現在4つの緩和ケア病棟がありますが、東毛地区にはありませんでした。今回、群馬県議会のみなさまが動いて下さったことと、特例病床として許可されたことで平成26年4月にがんセンターに25床の「緩和ケア病棟」の設置が実現しました。

緩和ケア病棟とは、「痛みや不安を和らげ、自分らしく生きる」ことを目標とします。つらい症状がなければ在宅での療養・看取りも可能です。しかし、患者さんが身体的・精神的に辛くなったり、在宅での介護力がなくなったり場合は入院をします。基本的にはがん患者さんまたはエイズ患者さんを受け入れています。

緩和ケア病棟を療養の場として選択する理由として「静かな環境」「家族との時間」を求めています。ある施設

では認知症の患者さんや身体症状の安定している患者さんに対して、お断りや転院をするところもあります。今後、がん患者さんも、認知症やほかの合併症を持っている場合や、さらに高齢化を迎える中、当センターではどのような患者さんに「緩和ケア病棟」を利用していただくか、今後十分に検討していくことが課題です。

(副) 特別養護施設を併設する予定はないのですか？

(茂木) 今回はデイサービスの案も出されました。しかし、在宅での生活を可能にするために、リハビリテーションに力を入れていく方針です。

(副) 私たち僧侶は死ということに常に念頭においています。その人の人生の最後をどのようにして看取することができるのか？実は、お子さんやお孫さんへの最後のラストメッセージだと思っています。だから、できるだけ生前にきちんと考えて見せて行くことが大切だと信じています。現代社会は「親子の核家族化」が進み、祖父母と住んでいる家庭は少なく、祖父母の老いていく過程をまのあたりにしない。だから、突然死ぬことになるので、昔よりもショックが大きいように感じます。

(茂木) 臨床では、患者さんから「死んだらどこへいくのか？」と問われます。しかし、正直その答えを医療者は持つてはいません。まして、突然の死への家族への対応は困難を感じています。また、医療者も「親子の核家族化」の一人です。特に、今の若い看護師にも言えることです。死への悲しみ

の経験は、大切にしていたペットが亡くなった経験と答える方はいますが、ペットの場合は、次のペットを飼うことで悲しみの回復が早いように感じます。しかし、人間の「死」はそうはいきません。医療者である私たちに求められることは、「人の死」に接し、乗り越え、なおかつ他の患者のケアへと切り替えていくことです。そして、残された家族も同じではないかと思えるようになりました。「大切な家族の死」を乗り越えることができた家族は、強い「死生観」を持つて生きて

いかれると思います。

(副) 私はハワイで開教師という仕事を7年半ほどしました。そのときによく病院はケア病棟を訪問させていただきました。病院の一番いい場所に慰問の方の駐車場があり、無料でした。末期ガンの患者さんもおられ、死後のお話しもしました。迫り来る「死」への恐怖を和らげるのは、宗教者の仕事という「仕事の棲み分け」のようなものがきちんと確立されていきましたね。そういう点は、がんセンターはいかがですか？

(茂木) 私も米国のヒューストンのM・D・アンダーソン緩和ケア病棟に2008年に研修に行きました。そこには、当然牧師さんも面会をしています。M・D・アンダーソン緩和ケア病棟は、急性期の緩和ケア病棟です。在院日数が5日から7日で皆さん退院します。「私は、吐き気が取れば帰ります」と、患者自身が目標を定めるのです。もちろん、そこで亡くなる方もいらつしやるのですが、その5日から7日の短い間でも牧師さんは必ず見えていました。「あなたは今、どこにいたいのですか？」と患者さんの意思を聴いて、言葉のキャッチボールをされている様子でした。牧師さんは「で

は、あなたを私は地元で待つていますね。」と言って帰って行くのです。家に帰ることが楽しみであり、待つてくれている人がいる、それゆえに、怖さが薄れるのではないかと思います。その後、日本の病棟に戻った時に、神父さんを見かけると気になり、神父さんの行動を眼で追うようになりました。神父さんは、自然に入ってこられ、信者さんとお話をして帰って行きます。周りの患者さんもあまり気にならないようです。

今の病院では患者さんが亡くなると「葬祭センターはどうしよう」とか、「お寺さんに連絡しなくて」と、寺や僧侶は亡くなったあとに願ひする存在という位置づけが強いようです。

(副) 世間でそういうイメージが出来上がっていると思います。外国では、宗教者が病院に訪問するのは「あたり前」という空気がありましたのは、有り難かったです。

(茂木) 最近では患者さんに「病名告知」をしますので、その後のコミュニケーション技術が求められます。実は私が大学院に行った理由もそこにあります。哲学や心理学、宗教、社会学などを学ばないと患者さんとの言葉のキヤッチボールができない。看護を言葉

に、文字に残したいと思いました。**(副)** 患者さんとのコミュニケーションで一番大切にしていることはどういったことでしょうか？

(茂木) 最終的に誰に看取られたいのか？ということをお聴くようにしています。しかし、「十分介護はしました。臨終の時に間に合わなくてもいいです。看護師さんそばにいてあげてください」と、患者さんから離れることもあります。それは、高齢者が高齢者を介護している今の社会がもたらした看取りへの変化とも言えるでしょう。家族に代わって私たち看護師が看取りを行う大切な役割です。患者も家族も疲弊しないよう、その時を見極める、そして家族の時間を大切にしてもらうことを心掛けています。

(副) 私自身も虎ノ門で小僧をして住み込みで働いていた時代からすでに1000件近いご葬儀と人生の最後に立ち会ってきました。多くの人がいのはいつまでもあると勝手に思い込んでいて、切羽詰まらないと遺書すら書かない。ましてや、遺族への手紙や音声なども生前に撮っておくこともない。瑞岩寺では檀信徒の皆様にごエンディング・ノートをすすめています。人生の

最後を一度静かなところで考えることが、毎日の人生にフィードバックでき、より充実した人生を送るきっかけになると信じているからです。

(茂木) 当センターでは、「病名告知」はしていますが、「余命告知」は、患者さんの希望がない限り行っておりません。ですから、残された日々を考えるのではなく、いかに「抗がん剤治療」に臨むかにすべてを賭けているのだと思います。次から次へと提示される治療。患者さんも家族もあきらめずにチャレンジしていく姿。がんとは闘うものだし、自分の死を見つめることは、怖いし考えたくない。この「抗がん剤」であと半年、次の半年とカウントを繰り返しながら「緩和的治療」に臨んでいるのです。ですから、告別式では「精一杯がんと闘った。その結果・・・」と故人を紹介する。死に対するショックではなく、その時点ではまだ、「がんとの闘いに負けた」という気持ちもあるのではないのでしょうか。

しかし、「抗がん剤」は悪いことばかりではありません。患者さんから「海外旅行などの予定がある」との情報があれば、医師との調整に入るのも看護師の役割です。医師も、2週間前から治療を一時中断し、そして、病状

を見ながら「旅行」を楽しんで頂く。そして、再度、治療を再開するといった具合に、「抗がん剤」と上手に付き合っている患者さんもいます。

(副) 私は両方大事だと思います。もちろん、最後まで病氣と闘うことも大切だし、医師はそれが仕事です。同時に遺される家族のことも考えることも必要かと。「朝には希望を、夕べに感謝」の日暮らしてはいかがでしょうか。でも、意識しないと以外と難しい。宗教の「宗」という字は「人生で大切なもの」という意味らしいです。だけれども、「死」からは逃れられないし、不安で恐い。でも、宗教者がそれを説くことによって、「死」が受容できるのなら、もつともつと出向かなければならない。「死」と闘うことからは「安楽」は得られない。「受容」することで「安楽」を得ることができると思います。きちんと、故人から伝える言葉をいただいた遺族は精神的な回復が早いということが分かっています。日本の医療現場では、宗教者にあまり頼らないのでしょうか？私が過ごした米国では、分業化されてうまく機能していたように思えました。脳死状態の家族の生命維持装置を継続するかどうか？などということも高額医療の米国では、家族が決めることには罪悪感があ

ります。そこに宗教者が救いの手を差し伸べるといふような、。

仏教の言葉で「諦める（あきらめる）」という言葉があります。これは、別の呼び方を「さとり」とも言います。積極的にあきらめることも「安らぎ」を得る方法かと。

そこらへんが毎週、日曜日に宗教施設に行きサンデーサービスを受けて宗教的な栄養を受け取っている国と日本人との大ききことなる点でしょうか？

(茂木) 慰問に来られる神父さんのお話しも決して宗教色の強いものではないりません。「たわいもない世間話なんだよ」と患者さんは嬉しそうに話してくれます。病棟まで親族や友人でない方が来て下さるといふことだけでも患者さんにとつては嬉しいのです。このようなインタビューを機会に僧侶の方にもお願いできることが分かりました。是非、副住職さんにはお願いしたいと思います。緩和ケア病棟25床はすべて個室です。二人だけで話せる環境はプライベートな相談ができるという意味でも良いと思われまます。

(副) アメリカでは人が亡くなるとまづ病院から直接お寺に電話が来ます。

夜中だろうと何だろうとお構いなしです。で私たち宗教者は病院に自家用車で直行し遺族とハグをしてお祈りをします。ですから、アルコールも飲めない。通常、葬儀式は2、3日後なので、実はこの時ほど遺族の悲しみが大きいときはありません。葬儀式ではだいたいぶ落ち着いてきます。大切な家族が亡くなるという現実に向き合ったときに、宗教者がそばにいて寄り添ってくれることほど、安心なことはないでしょう。

逆に日本では、ここに葬儀社がいまです。だから、僧侶よりも葬儀社の職員に親近感がわくのではないのでしょうか？

少し前までは、僧侶がいないと葬儀式さえ行えなかったが、今はそうではない。仕切るのは僧侶ではなく葬儀社。そして、僧侶を主役のように大切にするが、実際葬儀の主役といえは遺族だろう。亡き人を彼岸に渡して、遺族のこのころのケアこそが葬儀に求められる大切な意義だと思えます。

だから、瑞岩寺では故人の写真をいただいて、遺族にインタビューをして、一人一人別々の葬儀式を作ろうと努力します。葬儀社の葬儀はどれもこ

れもほとんど変わりが無い。奇麗なホールでの式は悪くはないが、どのくらい心を込めることができるのだろうか？

葬儀式は故人を想いだし、感謝を捧げ、涙するものでなければならぬと思う。そして、帰りにスツキリとした心持ちになれば理想だ。そのために、僧侶は全体をプロデュースする必要がある。見栄をはって葬儀をする必要はないし、本堂を使用すれば15人くらいの家族葬なら15万くらいからでもできる。

枕経に行くもうひとつの大きな理由は、葬儀社が来る前に家族に会って話を聞きたいというのがある。たとえば、そのサジェスチョンの中に故人の花祭壇を挙げられる献花をすべて花祭壇に組入れることなども言う。そうすれば、1万5000円×20組で30万の花祭壇ができあがる。これは、結構立派なものになる。故人が特別な花が好きであればその花を選択すればいい。業者者にさせると画一的な供花になる。また、エンディングノートを書いていれば、故人の好きな曲でお焼香したり、別れの言葉をお孫さんや奥様に依頼したり、キャンデーズのスーちゃんのように音声で故人が参列者に挨拶することもできる。

遺族は観客ではなく、葬儀に参加するのがいいと思います。納棺もシーツの4角を持って2人で納棺できまますし、肌に触ったりして、次第に冷たくなる遺体を感じることで死というものを受け入れてゆくと思えます。最近の葬儀は便利になりすぎで、手間をかけることは「ここを込める」ということ。これは時間でも手間でもよい、大事なことはそこだと思えます。

(茂木) 看取りも最近が変わりました。個人情報保護でその人の宗教もわからないことは本当に良いことなのか？などということも議論していくことが必要だと考えなおしました。

(副) 瑞岩寺では、お盆のときに棚行と言いまして檀信徒さんのお宅に伺ってお経を詠ませていただくのですが、顔を見て話すことがとても大切でそれが最後になってしまうことも多々あります。

(茂木) 私は僧侶の方々にも病棟に向いて欲しいと思います。医療者の考えは固執していきまますし、看護師も「死」について答えを持っていきません。患者さんが亡くなっても、すぐに気持ちを切り替えられるのがプロの看護師みたいところがあります。で



も、人は悲しいときには一人静かに泣くのが人間らしいのではないでしょう
か？家族も同様だと思います。

最近では、遺伝子分析によってこの治療はどこまで効くかまで分かるようになっていきます。残りの時間が少ないと医師からの情報で看護師ができることと。理想だけを追い求めるのではなく、現実の中で理想を実現させる。それはまさしく患者さんや家族とのコミュニケーションの中から見つける宝で

す。以前、ある患者さんが「6か月後に結婚式があるんだよ」の一言に、看護師は反応しました。その看護師は、患者さんや家族と調整を繰り返し、余命の短い患者さんのために結婚式を早めてもらったのです。患者さんは当日タキシードを着て病室から式場へと向かったのです。生き生きとしていた患者さんの笑顔を忘れません。「孫の顔が見たい」と言われた時にはさすがに、これは早めることは無理と判断。

(笑) 患者さんとのコミュニケーションが取れているからこそできた経験だと思います。

(副) 患者さんとのコミュニケーションの中で大切にされていることはどんなことでしょうか？

(茂木) コミュニケーションで大切にしていることは、「一方通行にならない」ように気をつけています。患

者さんは聞いてもらうだけでは物足りなく、看護師からの反応を待っているし、現実的には「答え」を求めています。「こういった治療をしたらどの程度延命できるのか？」とか。医師は「半年」とか「1年」と言いますが、私たちはその後、「じゃ、どうやってその時間を過ごしましょうか？」というところを話し合っていきます。それが、終末期のコミュニケーションです。家族と一緒に何ができるかを一緒に考えるということは看護師冥利につきることです。着替えや身体を拭く時の世間話しが情報源として絶好の時です。

男性の方は、「排泄の世話」というのは、躊躇する患者さんがいらつしやいますが、「化学療法や手術をした後で大変なときですから、わがままを言ってください」と声をかけ、患者さんが構えてしまっている部分を解きほぐすコミュニケーションも大切です。特に40代、50代の働き盛りの患者さんへの「わがままを言うてください」の一言は大切な言葉です。看護の記録には皮膚の状態とかを記入する欄がありますが、もっと大事なものは「こころのケア」の部分。そういったことを記入する欄がないのが今のジレンマです。結婚式のようなイベントも記録には残りません。

(副) 患者さんはやはり最後は自宅へ帰りたいですか？

(茂木) 自宅での介護力があるかどうかには尽きると思います。老老介護の場合、「迷惑をかけたくない」と遠慮してしまい入院している方が安心な方もいらつしやいます。できる限りの社会資源を紹介し、患者の希望に沿う療養の場の選択を調整しています。

(副) 最後に、将来の緩和ケアはどのようなだと思いますか？

(茂木) 緩和ケア病棟で亡くなる患者さんは増えると思います。超高齢者社会です。患者さんの尊厳を守りながら、入院での看取りということも大切になると思います。

一般病棟では①手術を受ける患者さん②抗がん剤治療を受ける患者さん③終末期の患者さんという優先順位がどうしてもあります。すべての患者さんを同時に大切にいくうえで多職種連携、是非、副住職さんには来訪していただきたいと思っています。

(副) はい、是非伺わせていただきました。本日はありがとうございます。

(終)

宗派自由 あんのん墓苑

太田市のシンボルである金山^{かなやま}が眼前に広がる絶好の立地で、仏様に見守られているという安穩(あんのん)な気持ちでお参りができると言うのが墓苑の名前の由来です。

見学自由・お申し込み随時受付中

- 広々とした平坦な墓苑で、車イスでもお参りできます。
- 陽当たり良好な全区画南向き・みかげ石通路。
- 駐車場・洗面・トイレ完備。
- 本堂や書院(冷暖房完備)を常にご利用いただけます。
(瑞岩寺でお葬式・告別式・年忌法要など、あらゆる法事を行うことが可能)
- 自由設計による墓石建立が可能です。
- 永代供養墓は、相続可能な新しいタイプのお墓です。(群馬県初)

- お寺からの寄付の要求は将来にわたってありません。
瑞岩寺は財務を公開しています。
- 後継者の名字(姓)が変わっても継承できます。(後継者のいない方には永代供養墓(相続型・非相続型)をお勧めします。)
- 入檀された方は本堂内陣に戸別の過去帳を位牌に収めてお祀りし、戒名を唱えて永代に供養します。

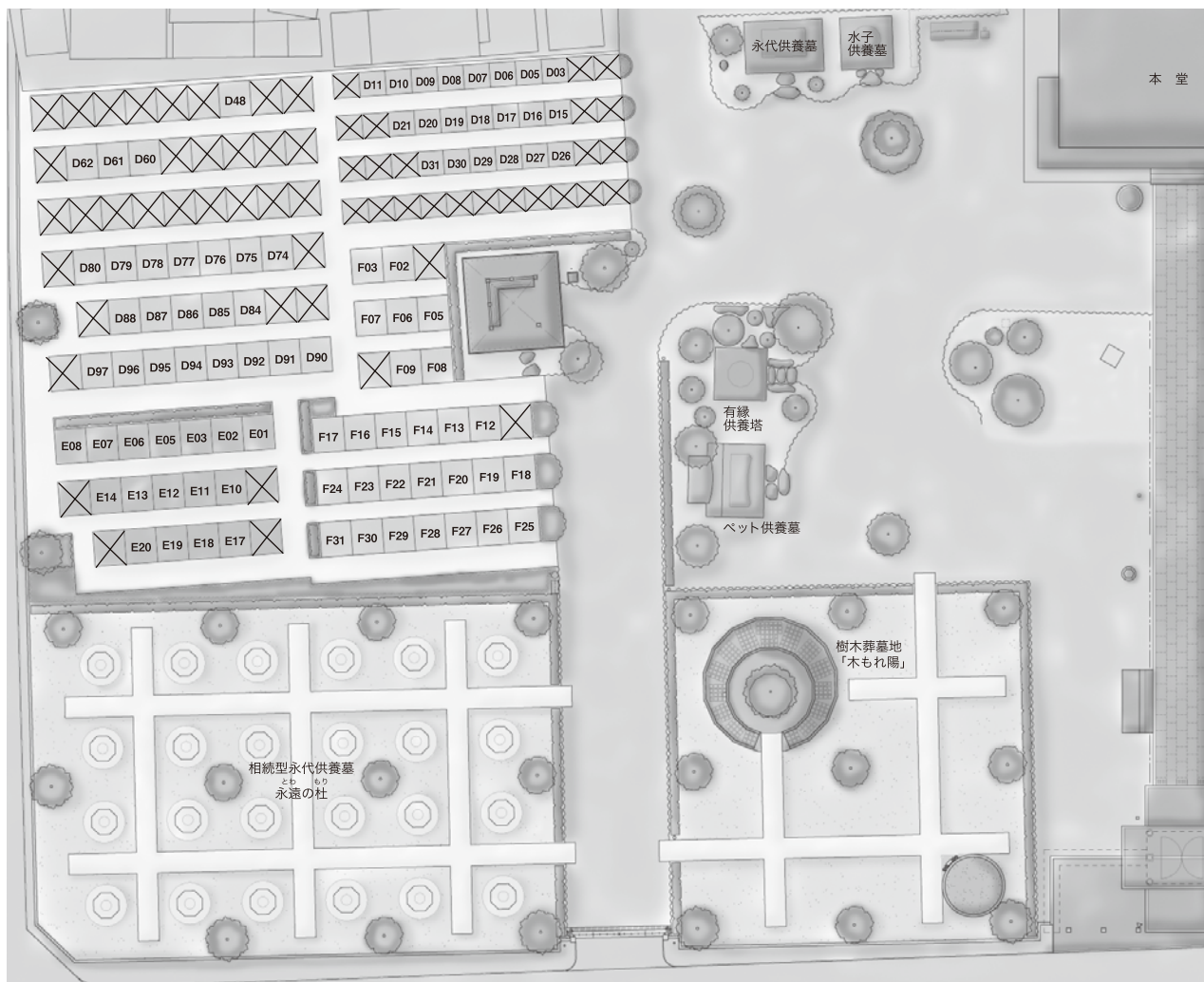
墓地契約時の経費

| 墓地の種類 | 永代使用料 | その他経費 | | 合計金額 | 石碑建立時に石材店に支払う費用の目安 |
|-----------------------------|-------|---------------|----------------|--------|---------------------------|
| 小区画 1.5m×1.4m 2.1㎡ | 30万円 | 基礎造成費 10万円 | 墓地管理費 2千円/年 | 40万2千円 | およそ 40万円 ～ 70万円 |
| 普通区画 1.8m×2.0m 3.6㎡ | 35万円 | 基礎造成費 15万円 | 墓地管理費 3千円/年 | 50万3千円 | およそ 50万円 ～ 120万円 |
| ウイズペット 1.8m×2.0m 3.6㎡ | 45万円 | 基礎造成費 15万円 | 墓地管理費 3千円/年 | 60万3千円 | およそ 50万円 ～ 120万円 |

年忌法要のお布施3～5万円。石塔開眼供養料3万円以上。塔婆5千円。施餓鬼会供養料1万円(塔婆1基の料金と供養料を含む)など葬儀布施・戒名授与(法号料)も基準を設けています。仏事法要に関すること何でも気軽にご相談ください。

*上記の工事金額は、白御影石を使用する普及型から黒御影石などを使用する高級型にいたる、およその見積り金額です。尚、これは消費税を含む墓石建立に関わるすべての費用です。

■ 墓地分譲図 (平成 25 年 1 月 1 日現在)



小区画
 <D区画 01～45> 1.5m×1.4m=2.1㎡ 44区画
 永代使用料30万円+基礎造成費10万円+墓地管理費2,000円/年
 =合計 40.2万円

普通区画
 <F区画 01～31> 1.8m×2.0m=3.6㎡ 30区画
 <D区画 46～98> 1.8m×2.0m=3.6㎡ 52区画
 永代使用料35万円+基礎造成費15万円+墓地管理費3,000円/年
 =合計 50.3万円

ウイズペット
 <E区画 01～21> 1.8m×2.0m=3.6㎡ 20区画
 永代使用料45万円+基礎造成費15万円+墓地管理費3,000円/年
 =合計 60.3万円

相続型永代供養墓 永遠の杜
 <永代区画 イイ01～ハニ21>
 墓石料40万円+永代使用料30万円+永代管理費10万円
 =合計 80.0万円
(墓碑刻み別料金)

podcast『こまったときの聴き込み寺』 (毎週金曜日好評配信中!!!)

最近、いつコンビニに立ち寄りましたか？ 唐突な質問で困惑させてしまいましたね。

普段の生活において、気軽にフラッと、もしくは何かが足りない時に近くのコンビニに立ち寄るのはよくある日常です。でも、こまった時、何か心に引っ掛かる悩みが生まれた時、あなたはどうしていますか？ 当番組は、群馬県・太田市にある瑞岩寺の住職・HASEさんの、実はコンビニの倍近くの数が存在するお寺に、何かあればフラッと立ち寄ってほしいをテーマに生まれました。「職場の上司と反りが合わず仕事が苦痛です」「子どもの好き嫌いが多くて困っています」「ミュージシャンへの夢を捨てきれず悩んでいます」「明日は初デート！ どうしよう！！」etc.人には言えない悩みも、日常のささいな疑問もHASEさんにぶつけてみて下さい。何かと忙しく、悩み多い日々。

お耳をお貸し下されば、少し疲れたそんな心をHASEさんがチクリとホンワカ癒やします。

【HASEへのご質問・お悩み相談は】

kikikomi@zuiganji.com まで。

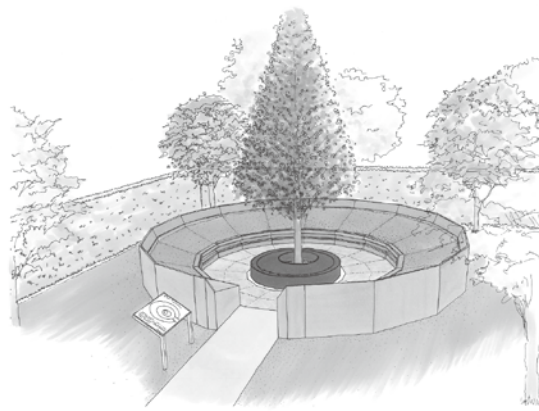
ペンネーム、年齢、性別とともにお寄せ下さい！

● iTunesでお聴きになる方には

→ <https://itunes.apple.com/jp/podcast/komatta-shino-tingkikomi-si/id624486999?mt=2>

● PCで直接聴取される方には、

→ <http://podcast5.kiqtas.jp/kikikomi/>



樹木葬墓地「木もれ陽」 〈43万円・夫婦80万円〉

墓を建てたいが後を委ねる家族がいない、子供がいても後々の負担をかけられない、かけたくない。こうした家族の変化を受けて、瑞岩寺では、宗派を越え、かつ跡継ぎを必要としない樹木葬墓地お墓『木もれ陽』(個別型)を建立しました。最近、注目される自然葬であり、墓石などは建立せず、土に還るタイプです。承継者がいなくなっても、瑞岩寺が基金運用によって供養、管理を続けるお墓です。そして、この度個人型の永代供養墓を新たなコンセプトをもとに建立しました。

『ひび割れ壺』

むかし、インドにある水汲みの人足がいました。

その人足は2つの壺を持って天秤にして下げて水を運んでいました。

その壺のひとつにはひびが入っていました。

もうひとつの完璧な壺が小川からご主人さまの家まで一滴の水もこぼさないのに、ひび割れ壺は人足がいつぱい入れてくられても、ご主人の家につく頃には半分になっているのです。

完璧な壺は、いつも自分を誇りに思っていました。なぜなら、彼が作られた本来の目的をいつも達成することができたからです。

ひび割れ壺は、いつも自分を恥じていました。なぜなら、彼が作られた本来の目的の半分も達成できなかったから。

2年が過ぎてすっかり惨めになっていたひび割れ壺は、ある日、川のほとりで水汲み人足に話しかけました。

「私は自分が恥ずかしい。そして、あなたにすまないと思っている。」

「なぜ、そんなふう思うの？」水汲み人足は尋ねました。

「何を恥じているの？」

「この2年間、私はこのひびのせいで、あなたのご主人様の家まで水を半分しか運べなくなった。水が漏れてしまいうから、あなたがどんなに努力しても、

その努力が報われることがない。私はそれがつらいんだ。」壺は言いました。水汲み人足は、ひび割れ壺を気の毒に思い、そして言いました。

「これから、ご主人さまの家に帰る途中、道端に咲いているきれいな花を見てごらん。」

天秤棒にぶらさげられて丘を登っていくとき、ひび割れ壺はお日様に照らされ美しく咲き誇る道端の花に気づきました。

花は本当に美しく、壺はちよつと元気になりましたが、ご主人様の家に着く頃には、また水を半分漏らしてしまった自分を恥じて、水汲み人足に謝りました。

すると、彼は言ったのです。

「道端の花に気づいたかい？花が君の側にしか咲いていないのに気づいたかい？僕は君からこぼれ落ちる水に気づいて、君が通る側に花の種をまいたんだ。そして君は毎日、僕たちが小川から帰る途中水をまいてくれた。この2年間、僕はご主人様の食卓に花を欠かしたことがない。君があるがままの君じゃなかったら、ご主人様はこの美しさで家を飾ることはできなかったんだよ。」

(作者不詳 菅原裕子訳)

合掌 瑞岩寺副住職 長谷川俊道 (副)

住職日記 『東京家族』

映画『東京家族』を観た。地方から自分の子供たちに会いたいと東京に出て来た老夫婦と家族のあり方を描いたものだ。

上辺では、親の世話をしている家族たちだが、本人たちは毎日の生活で忙しく祖父母を構ってられない。

人間の生活レベルは、20年前と比べても相当便利で快適になっていくはずなのに、人と人とのつながりは薄っぺらで浅くなっている。

『人間は便利になればなるほど、墮落する』とお釈迦様がおっしゃっていたが、本当にそのようになっていくのかも知れない。

自分のことしか考えない、1人良がり他人を気にしない。

電車で口紅を塗る女学生なども自分しか見えていない？他の乗客の気持ちに立てば、同じことができるだろうか？

便利を享受し、感謝するには人間もそれなりに「成長する」必要があるだろう。

「愛情」も「豊かさ」も「幸せ」も頭で考えるものではなく、「こころ」で感じるものだ。

本来自分でそう思っているだけでいいのに、世界中の情報が手の上に乗る、瞬時に世界中の情報にアクセスできる。

新幹線も高速道路も航空機も整備されて、1、5万円で東京から青森まで行け、3万円台でグアムまで行け、1000万円で大気圏までいける便利な時代だ。それだけ、選択肢が増えて比較対象が多く、却って自分が幸せに感じられない人が増え続けているような気がする。

先日講演会で精神医学の先生がおっしゃっていたのを思い出す。

日本人は先進国の中で一番「自己重要感」が低い国民らしい。自分を重要な存在と思えないから自殺や引きこもりになっているという。

少し海外にでてみて、東南アジアの子どもたちと接してみれば、いかに日本に生まれただけで、世界の中の5%の裕福な国民で幸せなのかよくわかると思う。

永平寺から歩いて帰ってきたとき、「歩く」というスピードはとてもゆったりとしているものだった。人生相談や悩み相談もその場でやったものだ。

これ、車や新幹線だったら、となりにも座らない限りゆっくりと質問できない。

映画の中では、祖母が急死するのだが、「大切な人」がいなくなる前にそういう時間を大切にしたいものですね！

いい映画ですよ！
合掌 瑞岩寺副住職 長谷川俊道

お知らせ

【With ペット墓地地区画】

●ペットと入れる墓地です。
永代使用料45万円＋基礎造成費15万円＋墓地管理費3千円/年
＝合計60万3千円

【相続型永代供養墓 永遠の杜】

●先祖供養の継承ができなくなった場合、瑞岩寺が続く限り責任をもつて（永代）供養します。

●生前契約ができます。葬儀の方法や埋葬法に問題意識を持ち、自分の死後は自分で決定したいという

●墓地が遠隔地になるので整理したい、分家したのでお墓がない、墓地建設に莫大なお金をかけたくない、身寄りのないお骨を預かって

●普通の墓地としても使用できる画期的な墓地です。
墓石料40万円＋永代使用料30万円＋永代管理費10万円＝合計80万円
〈墓碑刻み別料金〉

◆墓参の際のお願い

墓参の際、墓前にお供えのお供物はカラスや犬猫などが食荒らし汚れます。佛様は香りとお気持ちのみ頂きますので、お参りが済みましたらお持帰り下さるようお願い申し上げます。お団子もできましたら下にアルミホイルを敷いていただくと掃除がしやすく衛生的です。また、古い塔婆はゴミ箱に捨ててはいけません。お寺でお炊き上げをしますので寺務所へお持ち下さい。

◇悩み事・困り事の相談

悩み事・困り事の相談は無料です。必ず電話（三七一一二三一）にて予約してお越し下さい。相談の内容が外部

に漏洩することはありません。相談時間は午前9時から午後7時まで。夜間・深夜の相談は受けません。

◇厄年厄除、家内安全、商売繁昌、身体健康、学業成就、安産守護、家族祈願、自動車祈願
法要は、毎日十二時よりお参りできます。ご供養、ご祈願、ペット供養、水子供養は、電話、ファックス、電子メールなどでお願ひできます。

◆ホットキャスト『HASEさんの寺カフェ』ダウンロードできます！
瑞岩寺副住職（毛里田保育園園長）の私が、お寺やお墓、お葬式などの人に聞きにくいことや、ちょっとした疑問・質問などについて、人生のヒントになることを語ります。

http://www.fntaro.co.jp/
iTunesでお聴きになる方には、
http://itunes.apple.com/jp/podcast/hasesano-siccate/id532721628
PCで直接視聴される方には、
http://pod.kitias.jp/hasesan/

〈寺子屋講演会の音声もダウンロード可能です！是非、お聴きください！〉

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を
宗教法人 **慈眼山 瑞岩寺**
群馬県太田市矢田堀町388
TEL:0276-37-1231/FAX:0276-37-5535
E-mail:info@zuiganji.com
Website:http://www.zuiganji.com
i-mode:http://www.zuiganji.com/i/
ブログ http://ameblo.jp/zuiganji/
◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。
◇お身体をお大切に、お健やかにお暮らしくださいませ。
◇み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌